

## 教育奨励賞



三浦 雅布

## 略 歴

平成17年3月 岡山大学 医学部 医学科卒業  
平成17年4月 岡山赤十字病院（初期臨床研修医）  
平成19年3月 同上 退職  
平成19年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程（社会環境生命科学専攻）入学  
平成23年3月 同課程 修了  
平成23年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教（法医学分野） 現在に至る

## 業績要旨

受賞者は岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野助教として研究及び解剖/検案という実務の傍ら、学部学生等の教育に尽力してきた。

医学部医学科4年次生の法医学講義・実習においては、講義の一部のほか、実習の大半を直接担当し、平成29年度からは死亡診断書・死体検案書の作成実習において病理組織検査を新たに導入するなど、教育の質の向上に努めた。さらに法医学は、6年次生の選択制臨床実習において病院籍教員のいない分野でこの実習を担当する唯一の分野でもあり、教授を除く医師免許を有する唯一の法医学教員として学生指導を一手に引き受け、外傷の診方・CPA症例の死因診断等に必要な法医学的思考力の涵養に力を傾注してきた。

学生教育のみならず、研修医教育・医師の生涯教育・捜査関係者への法医学教育も行っている。救急科と法医学との合同主催で行っている「死因究明等推進のための勉強会」へ医学部生や研修医の参加を呼びかけ、第一線で活躍する臨床医を対象とした異状死体や死体検案に対する講演活動も行い、また近畿管区警察学校検視実務専科及び岡山県警察検死実務専科の講師を担当するなど、学内での医学教育で培ったものを広く社会貢献にも活かしている。